

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケア（株）SEDスクール奈良香芝		
○保護者評価実施期間	2024年 10月15日		～ 2024年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2024年 10月15日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育およびグループ療育における ○感覚調整遊具等を使った粗大運動 ○やりとりを意識した微細運動 ○言葉の理解と表出・コミュニケーション ○認知面や状況理解	感覚調整遊具を使った遊び等の粗大運動を通して体幹・体軸を育てながら体の動かし方や力の入れ方を理解できるようにする。 様々な微細運動を通して指先の巧緻性を高める。 1対1の個別療育の中で、人と遊ぶことが楽しいという対人・愛着・信頼の基礎を育てる。 遊びの中に効果的に視覚支援や短くわかりやすい言葉かけを入れることで理解を促す。	セッション後に毎回職員カンファレンスを行い、お子様の成長や見えた課題、これからすべきことについて共有している。 その話し合いを職員研修に発展させ、研鑽を積んでいる。
2	○保護者支援	毎回保護者様にはセッションの様子を観察室でご覧いただき、セッション後に担当指導員がフィードバックを行っている。 その日のセッションでのお子様の頑張りや成長をお伝えするとともに見えた課題についても共有し、家庭や園での様子についてもお話を伺いアドバイスをしている。	保護者様の希望に応じて、または必要に応じて園との連携を積極的に行うとともに保護者懇談会や通信の発行、親子療育でのクッキングなど、子育てが楽しいものであるようにと願い支援している。次年度はペアトレも計画している。
3	○睡眠と生活リズム	睡眠ログをとっていただくなど生活リズムが整うよう保護者様との定期的な相談を行うとともに、顧問の医師にアドバイスをいただいたり研修に参加させていただいたりしている。	日常生活における工夫や関わりだけでは睡眠リズムの改善が困難な場合には、顧問の医師や本社と相談・協力の上で受診やオンライン診療につなぐなど、専門性の高い取り組みとなるようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこども園や保育園・幼稚園との関係機関連携の件数に比べ、小学校への移行支援の件数は少ない	家庭的な理由など様々な理由で必要なケースについては移行支援を行っている。	今後も特に必要なケースについては会議の開催も含めて支援を行っていく。
2	事業所間の連携が不十分	保健センターなど行政との連携が必要なケースや保護者様が育児に深く悩み行き詰まりを感じるようなケース等、必要なケースでは連携をとっている。	担当者会議の開催などを働きかけていく。
3	地域とのつながりが不十分	地域のイベントに参加したり、地域の方を招待したりといった取り組みについては、業務との調整をつけることができていない。	きょうだい児については事業所内で遊ぶ機会があり保護者様とも相談を含めてお話をするが、その他については情報収集から始める必要がある。